



としょかんだより

令和8年2月3日（火）
久山町立久原小学校図書館
学校司書 横山 柳子



『せつぶんだ まめまきだ』
せつぶん^{まめ}に、なぜ豆をまくのか、どんなかざりをするのか、などが、わかりやすく書いてありますよ。



『おにもちうち おにもうち』
せつぶんの夜、泣いている鬼をお父さんが家の中へ入れてしまって……。ちょっと変わった、鬼のお話です。こんなせつぶんも、楽しいかも？



『まゆとおに』
やまばのむすめ、まゆは、ある日、鬼と出会いますが……。まゆを食べようとする鬼と、それに気づかず、楽しく遊ぼうとするまゆがとってもかわいくて、楽しい本です。



『おにのめん』
親元をはなれて働いているお春。ある日、大事にしていたお面が鬼のお面に変わってしまって……。親思いのお春と、まわりの人々との心あたたま、でも最後は大笑いできるお話です。



『しまおに』
小さな島に、ひとりぼっちで住んでいるおに。でも人間はおにをこわがって、友だちになってくれません……。ちょっとさみしくなってしまうけど、みなさんに読んでほしい本です。

2月3日は、節分でしたね。節分にまつわる話や鬼がでてくる本がたくさんあります。本を紹介したいと思いますので、学校図書館やレスポアール図書館で、見つけて読んでみてくださいね。

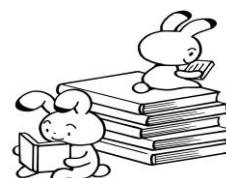


節分の由来

節分は、「みんなが健康で 幸せに過ごせますように」という意味をこめて、悪い物を追い出す日。「鬼は外、福はうち」と言いながら豆まきをします。節分という言葉には「季節を分ける」という意味があります。

昔の日本では、春一年のはじまりとされて、大切にされました。

♡節分（鬼）の本紹介♡



『おにたのぼうし』

せつぶんの日。どの家からも豆まきの音がして、おにたは行くところがありません。たった1けんだけ、おにたの入れる家を見つけたのですが、その家にはおなかをすかせた女の子がいました。ぼうしをかぶって食べ物を持っていったおにたに、女の子はなんと豆まきがしたいと言いだして……。